音別地区地震防災マップ

（想定地震：千島海溝沿いの巨大地震 M＝9.3）

※令和4年7月28日に北海道より公表された「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定」より

マグニチュードと震度

マグニチュードとは…

震源から放出される地震波のエネルギーの大きさ・規模を表す尺度です。

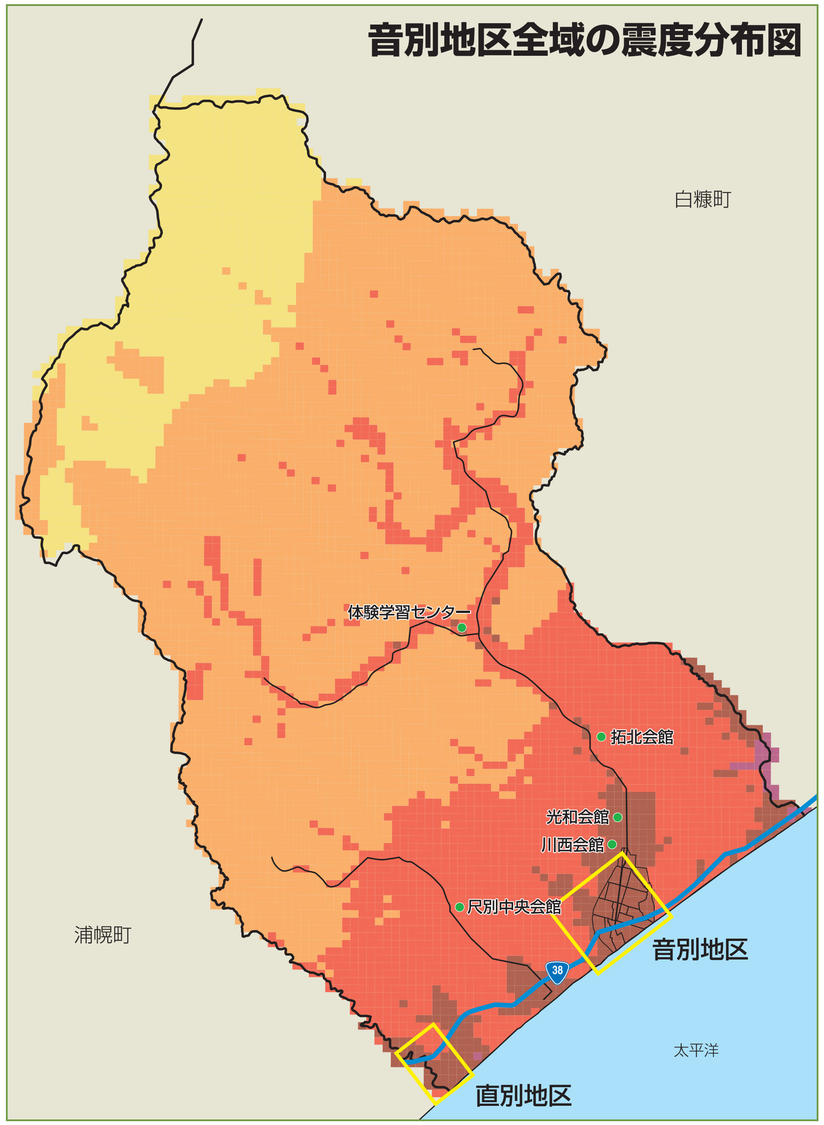
マグニチュード：Mは、地震のエネルギーを表す単位で、マグニチュードが1増えると地震のエネルギーは約32倍になります。マグニチュード9の地震は、マグニチュード8の地震の32個分のエネルギーを持っていることになります。

震度とは…

それぞれの地震観測点で計測された地震の揺れの程度を表したものです。
地震の揺れは、通常マグニチュードの大きさに比例しますが、各観測地点の震度は震源からの距離・震源の深さ・地震波の伝搬経路・地質・地形等の条件に左右されます。

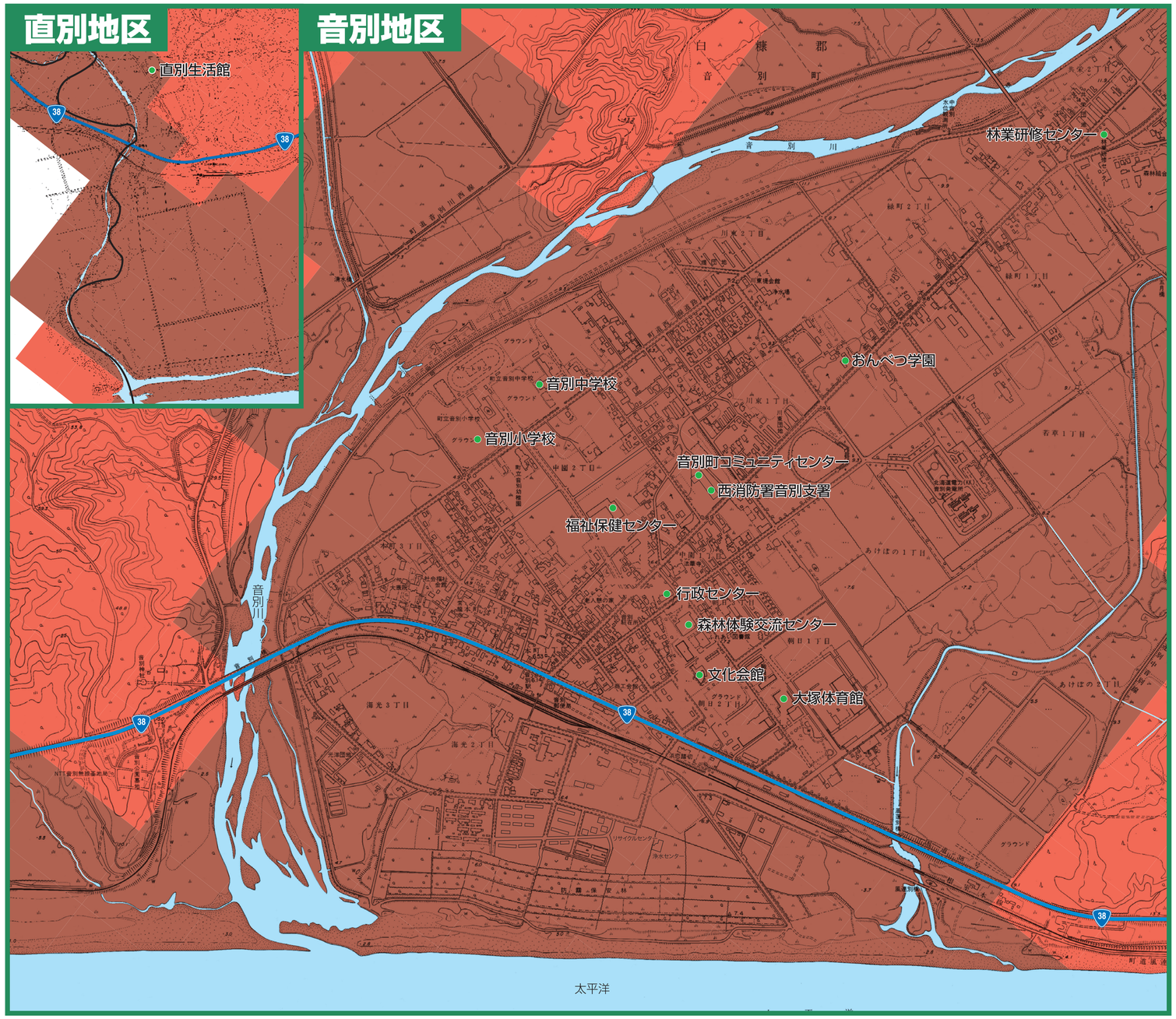
阪神・淡路大震災以前の震度階は8階級でしたが、大震災以降1996年（平成8年）10月1日から、震度階も10の階級（0～4、5弱、5強、6弱、6強、7）に変更されています。

音別地区全域の震度分布図

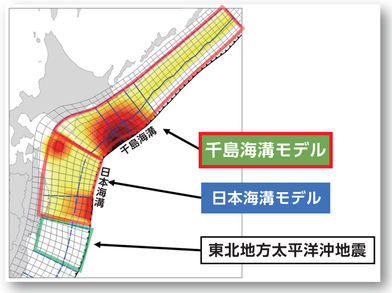


直別地区

音別地区



このマップは、「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」で推計した震度分布に基づき、北海道において地震波の伝搬経路、地質・地形等の条件から震度を推計したものです。このため、実際の震度とは異なります。



凡　例

境　界　等	震度階列
緊急輸送道路（国道・道道を含む）	4
行政区境界	5弱
地区境界	5強
	6弱
	6強
	7

2024（令和6）年3月発行／釧路市建築指導課（☎0154－31－4569）